

CBC NEWS LETTER

Vol.3, No.2, Mar.2003



小樽商科大学ビジネス創造センター

ニューズレター [Vol.3 No.2]

I N D E X

1. 平成14年度高度技術研修
2. 第4回産学連携研究成果報告会
3. 学生懸賞論文審査結果
4. CBC主要日誌
5. 投稿案内

1

平成14年度高度技術研修

小樽商科大学ビジネス創造センター（CBC）は、平成12年度に社会科学系大学初の地域共同研究センターとして省令施設化されました。爾来、CBCは本学の重要な地域貢献策の一つとして商学部の知的資源を生かしつつ、主として他の国公立大学理工系学部等研究者の強い協力要請により大学等発ベンチャー企業（VB）の設立を支援し続けています。平成14年11月現在、既に道内外計8社の設立に寄与しました。

平成14年度高度技術研修「大学等発ベンチャーの設立の知識と課題解決に向けて」は、その経験から培われた知見を活かしつつ、今後設立を企図する大学教職員、民間等技術者、研究者などの方々へVB設立の法務的・資金的・経営管理的知識などを提供し、大学等発VBの創出加速ならびにその健全な成長に資することを目的に開催しました。研修会は、2月6日・7日の日程で本学の教官、CBC産学連携コーディネーター及び学外協力スタッフをはじめ、日本政策投資銀行や産業経済局などから招いた講師によりCBCが蓄積したノウハウや研究成果を保護する特許の取得方法、マーケットの開拓の仕方などを解説しました。研修会には民間企業に勤めている方や経営管理者等の方が受講され、熱心に質疑応答や討議が行われました。今回の高度技術研修のプログラムは次のようです。



1

2月6日(木) 第1日目

「大学発VB設立にあたって」

下川哲央(ビジネス創造センター長・教授)

「大学等発VBの課題」

林 幹浩(ビジネス創造センター産学連携コーディネーター)

「大学等発VBの科学的評価と現状」

守内哲也氏(北海道大学遺伝子病制御研究所教授, (株)ジェネティックラボ取締役)

「知財戦略について」

小寺正史氏(小寺・松田法律事務所長・弁護士, CBC学外協カスタッフ)

「ファイナンスについて」

五十嵐伸吾氏((財)UFJベンチャー育成基金・総務部長, CBC学外協カスタッフ)

全体質疑

2月7日(金) 第2日目

「大学等発VBのマーケティング」

土井尚人氏((株)ヒューマン・キャピタル・マネジメント代表取締役CEO, CBC学外協カスタッフ)

「大学等発VBへの公的助成」

浦 忠幸氏(経済産業省・北海道経済産業局産業部・次長)

「大学等発VBのビジネスプラン(1)」

瀬戸 篤(ビジネス創造センター副センター長・商学部助教授)

「大学等発VBのビジネスプラン(2)」

佐藤 等氏(佐藤等公認会計士事務所長・公認会計士, CBC学外協カスタッフ)

「大学等発VBの課題と解決に向けて」

服部統幾氏(日本政策投資銀行新規事業部・調査役, CBC学外協カスタッフ)

全体質疑

2

第4回産学連携研究成果報告会

平成15年3月13日にKKR札幌において第4回産学連携研究成果報告会を開催しました。本報告会は、小樽商科大学ビジネス創造センターから生まれた研究成果を広く公開することで、北海道経済活性化に寄与することを目的に開催するもので、当日は40名の参加者がありました。報告会のプログラムは次のとおりです。



3月13日(木)

「大学発ベンチャーの新たなインキュベーションに関する研究」

高須 健一氏(株式会社 トランスサイエンス・コンサルティング事業部マネージャー)

瀬戸 篤 (小樽商科大学商学部経済学科助教授・ビジネス創造センター副センター長)

「朝里川温泉地域のCS調査」

田中 一良氏(観光クラスター『小樽ゆらぎの里』代表幹事, 田中酒造(株)代表取締役)

奥田 和重 (小樽商科大学商学部社会情報学科教授・ビジネス創造センター情報資料部主任)

「積丹町ー土佐山田町(高知県)における経済交流プロジェクト～新商品開発と物流に関する研究」

奥山 均氏(『積丹町地域間交流推進協議会』事務局次長, 積丹町総務部企画振興室企画振興係長)

松尾 睦 (小樽商科大学商学部商学科助教授・ビジネス創造センター研究部主任)

近藤 公彦(小樽商科大学商学部商学科助教授)

学生懸賞論文審査結果

研究部主任 松尾 睦

平成14年度の学生懸賞論文には18編の応募があり、厳正な審査の結果、以下の論文が入選論文として選出されました。

大学院生の部

1等 該当論文なし

2等 楊 龍光(修士2年):中国における競争法の現状

3等 該当論文なし

佳作 大橋良生(修士1年):自治体貸借対照表の意義と諸問題

学部生の部

1等 該当論文なし

2等 該当論文なし

3等 壽盛貴史(4年):日本における金融・財政政策の効果に関する実証研究

佳作

洪田聡子・田中 歩・大西良和・佐々木健一(3年):北海道観光産業の実態と展望

田嶋亮介(4年):小型車業界におけるマーケティング戦略

小松大輔(3年):映画史のなかの『汚れた血』ーレオス・カラックスのフィルム・ノワールー

今回の特徴は、入選論文の内容が、法律、経済、会計、統計、マーケティング、文学といった幅広い分野にまたがっているという点にあります。論文の審査にあたっては、各論文を二人の教官が独立に評価し、審査結果が分かれた場合には低い評価に合わせるという厳しい評価基準を採用しています。その意味では、厳密な審査を通過した今回の入選論文の質は一定のレベルに達しているといえましょう。例えば、大学院生の部において2等に入選した楊さんの論文は、「多少修正すれば学術雑誌に投稿できる」と評価されました。

全体的なレベルをさらに向上させるための課題は、「形式」と「オリジナリティ」のバランスにあります。良い論文を書くためには、学術論文としての形式を守った上で、収集したデータから独自の発見をしなければなりません。この点については、「論文・レポートの書き方」に関する教育に力を入れることで、レベルの底上げが可能になると思います。

最後になりましたが、本懸賞論文に対して、株式会社北洋銀行様より多大なるご支援を頂戴致しました。記して、感謝の意を表します。

CBC主要日誌

CBC運営委員会	主任会議
9月	
10月17日(木) 議題:なし 報告:4件	10月7日
11月19日(火) 議題:1.小樽商科大学ビジネス創造センター高度技術研修実施要項(案)について 2.小樽商科大学ビジネス創造センター客員研究室使用申込書及び使用許可書の改訂について 報告:4件	11月7日
12月17日(火) 議題:CBC各部スタッフの修正及び追加について 報告:5件	12月3日
1月28日(火) 議題:1.小樽商科大学中期目標・中期計画作成案(CBC運営会議検討分)について 2.平成15年度小樽商科大学後援会助成による研究・教育推進事業にかかる「ビジネス創造センター充実のための事業」申請について 3.北海道経済学会平成15年度総会・記念シンポジウム開催について、及び開催にかかる一部経費の平成15年度小樽商科大学後援会助成申請について 報告:4件	1月14日
2月24日(月) 議題:1.平成14年度ビジネス創造センター産学連携研究成果報告会実施計画案について 報告:7件	2月12日

投稿案内

ニュースレターはCBCに関する情報をタイムリーに開示するだけでなく、CBC関係者相互の情報交換の場でもあります。CBC関係各位の積極的な投稿をお待ちしています。

投稿、問い合わせはEメールにてお願いします。投稿は随時受け付けておりますが、投稿原稿の採否、掲載号の決定はCBC情報資料部に御一任ください。

○投稿先 小樽商科大学ビジネス創造センター情報資料部 Eメール:okuda@res.otaru-uc.ac.jp

編集後記

このたび小樽商科大学ビジネス創造センターのニュースレターVol.3, No.2を発行することができました。これも関係各機関・各位のご協力の賜であります。本号では、平成14年度高度技術研修、第4回産学連携研究成果報告会を取り上げています。また学生懸賞論文の審査結果についての総括と受賞論文・受賞者を掲載しました。CBCでは今後、高度技術研修やエグゼティブ・プログラムなどの開催を予定しています。より充実したニュースレターにするために今後ともみなさまのご協力を賜りますようお願いいたします。

(情報資料部)

小樽商科大学ビジネス創造センター (CBC)
〒047-8501 小樽市緑3丁目5番21号
事務室 TEL 0134-27-5290
FAX 0134-27-5293
メールアドレス cbc@office.otaru-uc.ac.jp
ホームページ <http://www.otaru-uc.ac.jp/cbc/>